



CHARM

各 位



2025年12月16日

会社名 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
代表者名 代表取締役会長兼CEO 下村 隆彦
(コード 6062 東証プライム市場)
問合せ先 取締役執行役員 前田 好彦
電話 06-6445-3389

介護スタッフの「選択的週休3日制度」導入の経過報告に関するお知らせ

当社グループは、別紙のとおり 2024 年 7 月より「選択的週休3日制度」導入に向けた実証実験を行いました。その後、2024 年 10 月より今日まで本格導入を進めてまいりましたので、その経過報告等について下記のとおりお知らせいたします。

記

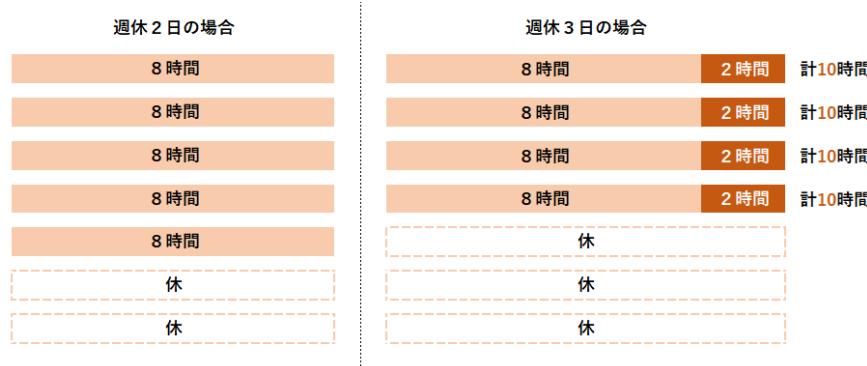
1. 週休3日制度導入検討の理由

事務職を中心とする他の業界では週休3日制度を導入する企業が出てきています（民間企業の 1.6%^(注1)）が、24 時間 365 日年中無休の施設系介護業界において週休3日制度を導入している企業はほとんどありません。しかしながら、介護業界では特に人材確保が大きなテーマとなっていることから、当社グループでは、その対策の1つとして週休3日制度導入の検討を始めました。

2. 導入の検討

週休3日制度には3類型^(注2)があるとされていますが、当社グループは、①ご入居者様へのサービスを変わりなく提供できること、②労働負荷が大きくならないこと、③コスト（労務費）が大きく増えないことを条件として検討いたしました。その結果、①～③の条件には、給与額と総労働時間が変わらない「総労働時間維持型」がマッチすると判断いたしました。当社グループでは、週休3日の場合、1日の労働時間を8時間から 10 時間に増やす（下図）こととしたため、個人の事情によっては難しい場合があることを想定し、「選択制」とすることが現実的であると考えました。

(例)



3. 事前アンケート、シミュレーション～実証実験の開始

対象スタッフ約 1,130 名にアンケートを実施したところ、約半数が週休3日を選択したいという結果が出ました。「選択制」を前提として、週休2日（8時間勤務）と週休3日（10時間勤務）混在でシフトが組めるかシミュレーションを行ったうえで、希望者の多かった3ホームで実証実験を行うことといたしました。スタッフに対しては事前にしっかりと説明を行い、実験中にヒアリングを実施し、良い意見や課題を検証しながら3ヶ月をかけて実験を進めました。

(注1)出典: [厚生労働省「令和6年就労条件総合調査の概況」](#)

(注2)週休3日制の3類型

- 給与減額型（給与額・総労働時間ともに減少）
- 総労働時間維持型（給与額・総労働時間ともに変動なし）
- 給与維持型（給与額は変動なし、総労働時間は減少）

4. 実証実験の検証～2024年10月より順次、全ホームに展開

実証実験の結果、シフトの作成が煩雑になることや、子育てとの両立が難しいなど家庭の事情により週休3日の選択が難しいスタッフも一定数いる等の課題が明確になりました。一方で「休みが増えた」、「疲労感が軽減した」、「プライベートを充実させることができる」などポジティブな意見・感想も多く見られました。中でも「疲労感が軽減した」という感想は、週休2日の場合は日勤の8時間勤務と夜勤の16時間勤務が変則的に混在するのに対して、週休3日の場合は1勤務の労働時間が10時間に固定されることから、スタッフの体調管理・健康面に良い影響をもたらしているものであると考えられます。

実証実験の検証により、週休3日選択スタッフの労働負荷が大きくならず、残業時間が大幅に増加することがないこともわかり、そして最も重要な点として、ご入居者様への介護サービスを変わりなく提供できることが確認できました。

この結果を受けて、週休3日の選択が難しいスタッフは今までどおり週休2日を選択できることとする「選択的週休3日制度」を2024年10月より順次、全ホームに展開することを決定いたしました。

シフトの作成については、シフト自動作成ツールの導入を以前より進めておりましたが、週休2日と週休3日のスタッフが混在するシフト作成においては、このツールがより効果を発揮することがわかり、全ホームに導入することといたしました。

5. 現在の状況

2024年10月より順次、全ホームに徐々に普及を進めていった結果、ホームによってばらつきはありますが、2025年11月時点で、**平均60%近くのスタッフが週休3日を選択しています**。

60% !!

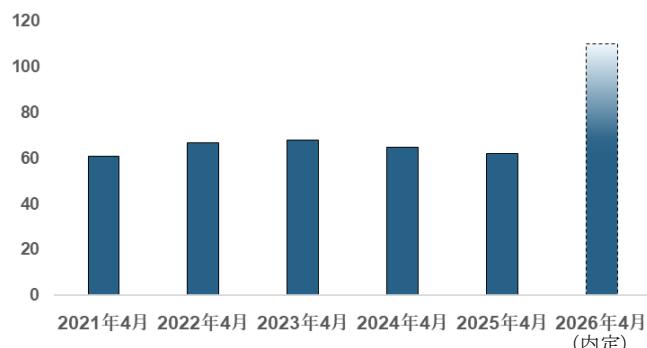


また、当社スタッフが加入している労働組合において最近実施された当社の「選択的週休3日制度」に関するアンケートでは、現在、週休3日を選択しているスタッフの**75%が週休3日選択を今後も継続したい**との回答結果であったと報告を受けております。

また、週休3日選択スタッフには副業を認めており、増えた休みの日を副業に充てるスタッフも複数出てきています。

そして、「選択的週休3日制度」導入は人材採用にも良い効果が及んでおります。新卒採用においては、現在、昨年同時期の内定者数の倍以上となる110名の内定者数となり、今期については採用をストップいたしました。来期の新卒採用についても引き続き順調に進んでおります。上記労働組合のアンケート項目の中の「入社の決め手」として、「週休3日制で働きたいから」という理由が上位にランクインしていることからも人材採用に良い効果をもたらしていることが明確になりました。

新卒採用者数



6. 今後について

当社グループは、今後も有料老人ホームの新規開設やM&Aによる取得を積極的に進めることとしておりますので、当社グループの発展に必要な優秀な人材の確保に向けて、現状にとどまることなく、「選択的週休3日制度」をより利用しやすくするための改善や、その他の新しい施策の検討・導入を進めてまいります。

以上



(別紙)

報道関係各位

PRESS RELEASE

2024年7月4日

会社名 株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
代表者名 代表取締役会長兼社長 下村 隆彦
(コード 6062、東証プライム市場)

介護スタッフの選択的週休3日制度導入に向けた実証実験を開始

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション（本社：大阪府大阪市、代表取締役会長 兼 社長：下村 隆彦）は、介護スタッフの選択的週休3日制度導入に向けて、近畿圏2ホーム、首都圏1ホームにおいて7月1日より実証実験を開始いたしました。

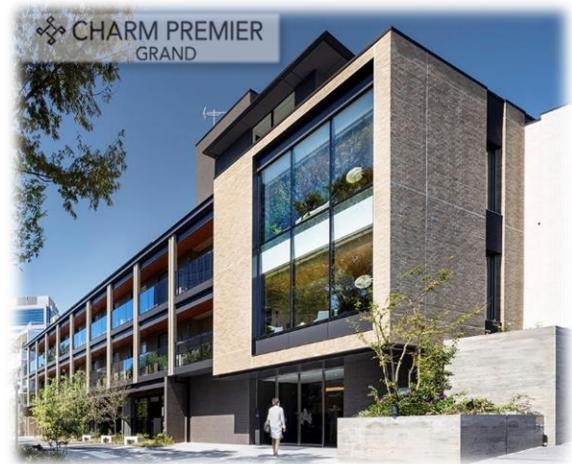
介護事業を取り巻く雇用環境は年々厳しさを増しており、介護サービスの提供を担う人材不足が社会問題となりつつあります。

このような事業環境におきまして、首都圏・近畿圏において、介護付有料老人ホームを中心（約95%）に全92（首都圏43、近畿圏49）の有料老人ホームを運営している当社グループは、より多くの方に当社グループで働きたいと思っていただけるように、介護の現場で活躍する介護スタッフの働き方の選択肢を増やすため、従来の週休2日（1日の労働時間8時間、年間休日115日）に加え、週休3日（1日の労働時間10時間、年間休日160日以上）を選択できる制度の導入に向けて始動いたしました。

対象となる当社グループの介護スタッフ約1,130名に事前にアンケートを実施したところ、約半数が週休3日を選択してみたいと回答し、特に希望者が多いホームを対象として実証実験を開始しております。

実証実験は約3ヶ月をかけて実施する予定であり、随時、課題等を確認しながら本格導入の準備を進めてまいります。すでにシフト自動作成ソフトの導入や勤怠管理システムの改修は完了しております。

なお、選択的週休3日制度の本格導入と同時に、副業についても社内手続きを簡便にし、増えた休日を副業に充てやすくする仕組みも検討しております。



東京都品川区の「チャームプレミアグラン御殿山」

■ 会社概要

名 称	株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
所 在 地	大阪本社：大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館21階 東京本社：東京都渋谷区渋谷3丁目28番15号 渋谷S.野口Bldg. 5F
代 表 者	代表取締役会長兼社長 下村 隆彦
事 業 内 容	「介護付有料老人ホーム」及び「住宅型有料老人ホーム」の運営ほか
U R L	https://www.charmcc.jp/corp/

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション 人事部 山田

TEL : 06-6445-3389 FAX : 06-6445-3398 MAIL : ir@charmcc.jp